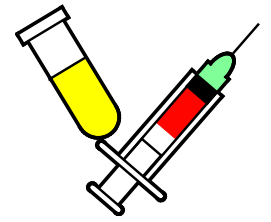


糖尿病をよく知るための検査

★血糖：けっとう、グルコース、G l u

[基準値] 空腹時70~110mg/dL 随時 \leq 200mg/dL



- 血液中のブドウ糖濃度を表しています。
- 100~110mg/dLは正常高値といい、将来糖尿病を発症するリスクが高いなど、注意が必要です。
- 空腹時とは、前の食事から約10時間経過した時間のことで、お腹が空いている時、ではありません。
- 随時血糖とは、空腹時以外のタイミングでの血糖値のことを言います。

★HbA1c：ヘモグロビンエーワンシー

[基準値] 4.6~6.2%(NGSP)

- 赤血球の赤い色素ヘモグロビンは、全身に酸素を運ぶ働きをしています。HbA1cはヘモグロビンにブドウ糖が結合したものです。赤血球の寿命が1、2か月と言われているので、過去1~2か月の血糖状態を反映しています。

★尿糖：によとう

[基準値] 陰性（－）

- 尿の中に排泄されるブドウ糖のことで、高血糖状態では血液中のブドウ糖が尿の中に排泄されます。血糖値170mg/dL前後を超えると尿糖が陽性になります。



★経口ブドウ糖負荷試験：75g OGTT

- 糖尿病を診断するための検査で、10時間以上の絶食の後に、75gのブドウ糖を溶かした水を飲んで、その後の血糖値の変動を見ます。
- ブドウ糖を飲んだ2時間後が140mg/dLなら正常型、140~200mg/dLが境界型、200mg/dL以上は糖尿病型となります。
- 空腹時の血糖値が基準値範囲内でも、食後の血糖値が高い場合は、将来、糖尿病になる危険性が極めて高いので注意が必要です。